

新任職員インタビュー・メンター制度

はに た
埴田 ゆかり

職業安定局
高齢者雇用対策課 高齢者雇用企画係

大学院では臨床心理学を専攻しており、中でも障害のある方のライフステージに着目して研究を行っていました。研究の中で、多くの障害のある方が困難を感じるのは就労のタイミングであることを知り、どうすれば「働きやすい」仕組みが作れるのだろうか、ということに興味を持ち、厚生労働省を志望しました。

現在所属している高齢者雇用対策課は、定年の延長・廃止や継続雇用制度の導入、高齢者への再就職支援や生きがい就労支援などの取組に関わる部署です。高齢化社会が進展する我が国において、とても責任のある仕事だと感じており、自分の仕事が社会の中に届いていることを想像しながら日々取り組んでいます。

入省前は厳しい人が多いのではと不安でしたが、実際に仕事を進めていく中で、上司や先輩が気さくに話しかけてくださることが印象的で、わからないことはすぐ聞きながら仕事を進めています。

今後したいこと

現場の課題を理解し、施策に反映できる行政官になりたいと思います。そのために、自分の所掌はもちろんのこと、幅広い分野に関心をもって知識を深めていき、自ら行動していきたいと考えています。



ひら た
平田 ともや
智也

職業安定局 総務課
首席職業指導官室 職業紹介係

「生きづらさ」や「学びにくさ」を抱えた子どもたちの支えとなれるような教員を目指すため、大学では教育学を専攻しておりましたが、こども食堂やフリースクール等でのボランティア活動、アルバイトでの経験を通じて、教員という立場ではなく別の視点から、より多くの方の支えになりたいと考え、国家公務員を目指しました。

現在は全国のハローワークの職業紹介を統括する部署で働いています。ハローワークをはじめとする職業安定行政は、人々の暮らしの最も身近な部分の一つである「労働」を支える重要な役割を担っており、やりがいを持って業務に取り組んでいます。また、現在の部署は、国会業務やニュースで取り上げられるような業務に携わる機会もあるため、日本行政の渦にいたいという実感を持つことができ、日々刺激を受けています。

今後したいこと

私は現場で求められている施策はなにか、社会で必要とされている施策はなにかを常に考えられるような行政官になりたいです。そのために来年度の地方研修では現場の視点を身につけるとともに、今後は様々な部局での経験を積むことで幅広い知見を持ちたいと考えています。

1日のスケジュール

- 9:30 ● 登庁**
課内の皆さんに挨拶をして、メールをチェックします。
- 10:30 ● シルバー人材センター視察**
実際の現場へ視察に行き、どのように働いているのか、現場の課題は何か、把握していきます。
- 12:00 ● 昼食**
同期と一緒に食えることが多く、近くの公園や他省庁の食堂まで食べに行くこともあります。
- 13:00 ● パンフレット修正**
70歳までの就業機会の確保に関するパンフレットを修正しています。修正に当たり、高齢者を雇用する際、企業がどんな工夫をしているか調べます。
- 15:00 ● 特設サイトに関する打ち合わせ**
高齢者雇用に関する特設サイトについて、どんな内容を盛り込むか、企業・求職者にとってわかりやすい内容か、上司と話し合いながら進めています。
- 17:00 ● 電話対応**
高齢者雇用の制度に関する問い合わせに対応しています。
- 18:15 ● 退庁**
部署の中で定時退庁日が決められており、予定が立てやすいです。



地方研修
係員クラス

係長クラス

都道府県労働局職業安定部長など
課長補佐クラス

室長・企画官クラス

都道府県労働局長
課長・首席職業指導官クラス以上



なかむら
中村 さつき
颯希

人材開発統括官付
若年者・キャリア形成支援担当参事官室
企画係

大学院では臨床心理学を専攻し、孤独感や人に助けを求めたくても求められない人に関する研究を行ってきました。

現在所属している若年者・キャリア形成支援担当参事官室は、新卒応援ハローワークやわかものハローワーク、地域若者サポートステーション等の若年者への就労支援を所管しているほか、教育訓練給付の講座の指定や、キャリアコンサルタント登録制度に関する事など、幅広い施策に取り組んでいます。私は、室の窓口係として、他省庁、他課室、国会議員等からの照会や作業依頼を取り次いだり、手続きのサポートを行ったりしています。

業務は、想像以上に多くの人と協力するもので、迅速で臨機応変な対応が求められていると日々感じています。ただ、困ったときには上司や先輩がサポートしてくださるので、業務に負担感無く取り組んでいます。

今後したいこと

業務に携わる中で、幅広い施策の知識と、現場感覚を持つておくことの重要性を感じています。現在の業務の基礎知識を固めながらも、今後は課室内外に限らず、さまざまな経験を積んでいきたいと思っています。

メンター制度について

現在の業務

竹本 現在は若年者・キャリア形成支援担当参事官付キャリア形成支援室にて、キャリアコンサルタント登録制度の運営や、キャリアコンサルティングの提供・ジョブ・カード制度の普及促進を行うキャリア形成・リスキリング推進事業を担当しています。今年で入省3年目になります。

中村 現在は若年者・キャリア形成支援担当参事官室で、新卒応援ハローワークやわかものハローワーク等の若年者への就労支援や、教育訓練給付の講座の指定に関わる業務の窓口係として、様々な作業依頼を担当係につなぐ業務を行っています。

メンターに相談したこと

中村 面談の時には、休暇をどう取るかということや、業務を進めるうえで上司にどのくらい相談するかということなど、働く上で基本的なところを相談しました。他にも、業務に関する勉強等、業務外でどのように時間を使っているのかといった、細かいところもお聞きしました。

また、入省したばかりで先のことが不明瞭に感じていたため、今後の研修のことや、キャリアパスなどについても教えていただきました。面談は定期的にしていっていますが、その時以外でも相談したいことがあれば、チャットを使って質問などをすることもあります。

竹本 中村さんは落ち着いて着実に業務をこなしており、着任して数ヶ月にもかかわらず本当にすごいなと感じています。

人間科学職の2年目には1年間の地方研修がありますが、自分は帰ってきたばかりなので、経験も交えてお話ししました。今後のキャリアパスについても話し合うことで、モチベーション向上にもつながるかと思います。

日々の業務の進め方については、自分が入省当初に不安だったことや疑問に感じていたことを思い出しながらお話ししています。どんな細かいことでも、なんでも聞いてもらえると嬉しいです。



メンター
たけもと
竹本 まりな
真莉奈

人材開発統括官付参事官
(若年者・キャリア形成支援担当)付
キャリア形成支援室 キャリアコンサルティング係

メンター制度について

中村 業務中に時間を取って相談するほどのものではないと思うような疑問や、細かい不安にも丁寧に答えてくださったので本当にありがたかったです。

さまざまなバックグラウンドを持つ方と協力して業務を進めているため、同じ職種の方で相談しやすい方が近くにいることで安心して業務に取り組んでいます。実際、今は同じ課室内にいらっしゃるの、業務中でも何か相談したいことがあった際に相談しています。

竹本 中村さんとはお互いの担当業務のこともよくやりとりをしており、気軽に相談しあえる関係が業務にも良い影響を与えていると感じます。

自分が1年目の時にメンターの先輩にはとてもお世話になったので、自分も少しでも後輩の力になれたらと思っています。メンター制度を通じて、お互いに成長していければと思います。